

【 天国への手紙

2021年7月25日放送分
】

一杯のキムチチャーハン マスターへ

ラジオネーム…

マスターに初めて会ったのは、私が高校生の時でしたね。

高校に入学して何かアルバイトをしようと思って

私はとりあえず、近いからという理由で

家からすぐそばの中華料理屋、マスターの店で働き始めました。

マスターは口うるさくて、頑固で熱い人だった。

入った当時は、面倒くさいからすぐにやめてやるっ

なんて思っていました。

でもある出来事を境に、私の気持ちが大きく変わった。

あの日は、学校で嫌なことがあったバイトの日

「もっとテキパキ動け、こえをもっと出せ」

とマスターにしかられた。

でも、閉店した後マスターが僕の異変に気付いたのか

いつもは余った一品料理とご飯がまかないで出てくるのに

その日はマスターの得意料理で看板料理のキムチチャーハンを何も言わずに置いていってくれたのを覚えています。その小さな気遣いで私は救われたんですよ。今でもあの時の味は忘れられません。

高校を卒業後、大学進学の為地元を離れた。

もちろんそうになるとマスターのお店で働くのもそれまで、

マスターが亡くなったのは、私が大学3年生の時。

地元に戻ったときにお店がなくなっていて知った。

キムチチャーハンを作ってみたけどべちゃくちゃ。

やっぱりマスターみたいにはいきませんね

もう一度マスターに会いたかった、もう一度マスターの作る料理が食べたかった。

私はマスターみたいに料理のセンスは無いけれど、

あの時のマスターの様に、自分の仕事で誰かを元気にできるような人になりたいです。

リクエスト曲

() ロードオブメジャー／心絵 ()